

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について（報告）

1 目的

第7期千葉市障害福祉計画（令和6年度～令和8年度）に成果目標を設定して、精神障害者が地域の一員として安心して、自分らしい暮らしを送れるよう、地域の課題を共有化した上で、精神科病院・事業所・行政等が連携し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指している。

2 主な内容や実績など

（1）「協議の場」として、地域包括ケアシステム構築推進連携会議の開催

- ・ 構成員 精神科病院の地域移行に関わる職員、地域の事業者、行政機関等
- ・ 協議事項 精神科病院における長期入院者の地域移行プログラム内容等の検討、事業実施状況の把握、事業実施後の評価。
- ・ 分科会 実践を目的とした、3つの分科会（通称：進め隊・広め隊・深め隊）を連携会議のもとに設置し、積極的な活動を実施している。

3つの隊の主な活動内容

①進め隊：地域移行支援・地域定着支援の地域での展開

- 活動内容 ○構築推進サポーターを活用した地域移行支援の展開
○地域移行支援、地域定着支援に関する地域課題の検討や調査・分析

②広め隊：地域住民等への広報啓発活動

- 活動内容 ○市民向け啓発事業、若年層向け啓発

③深め隊：ピアサポーターの育成や活用

- 活動内容 ○ピアサポーター実践者同士の交流や意見交換
○市民や関心がある方に向けた交流・啓発
○ピアサポーターの活用促進の関する促進

<連携会議・分科会の開催状況>

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
連携会議開催数	2回	2回	2回
分科会開催回数	29回	29回	28回

（2）入院中の精神障害者の地域移行に係るプログラムの実施【進め隊・深め隊】

主に入院期間1年以上の長期入院患者の地域移行を促進し、併せて医療機関や各事業所の地域

移行支援実践力の育成や向上を目指し、地域の関係者がチームを組み地域移行に向けて実践的な取り組みを実施している。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体験談プログラム	OJT：1事業所受講 OJT回数：延20回	OJT：0事業所受講 OJT回数：0回	OJT：2事業所受講 OJT回数：延13回
日中活動（事業所） 体験プログラム	新規ケース：1人 退院者数：2人	新規ケース：0人 退院者数：0人	新規ケース：2人 退院者数：1人
生活訓練（宿泊） 体験プログラム	退院目途：0人 5年度継続：0人	退院目途：0人	退院目途：0人

（３）入院患者及び病院・事業所等職員に対するニーズ調査の実施【進め隊】

（長期）入院中の患者や支援者、地域住民のニーズについて調査を行い、本市における地域移行支援の実態把握および今後の課題等を分析。

年度	令和元年度	令和3年度
調査内容	市内地域住民の精神障害に対する意識調査	地域移行等に対する意識調査
対象者	市内住民	障害福祉サービス事業所 医療機関等
回答人数	126人/126人 (回収率100%)	123事業所/192事業所 7病院/8病院
結果概要	精神障害の相談先が分からない、自分たちとは関係ないと思っていたという声が多かった。	医療機関および障害福祉サービス事業所等の地域移行に関する意見やニーズを把握した。今後、本事業の方針検討に活用していく。
今後の課題	より効果的な市民への普及啓発 方法の模索	地域における課題・医療機関に おける課題

（４）精神障害者の地域移行支援に携わる職員等への研修の実施【進め隊・広め隊】

＜進め隊＞

国が選任するアドバイザー及び精神障害者に対する地域生活支援を先駆的に実施している者等を講師として、主に医療機関や障害福祉サービス事業所等を対象にした研修を実施している。

年度	令和3年度 令和4年度	令和5年度	令和6年度
個別研修	未実施	1回（中村古峽記念病院） （45人）	1回（篠崎病院） （18人）
内容	未実施	地域生活の現状及び地域移行 支援に関する研修	地域生活の現状及び地域移行 支援に関する研修
対象者	未実施	医療機関職員 （医師・看護師・PSW・OT等）	医療機関職員 （医師・看護師・PSW・OT・薬剤師等）

※令和3年度及び令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から実施ができなかった。

＜広め隊＞

分科会活動の実践を通じた振り返りと、医療機関や地域の事業所等関係者への情報発信を目的として開催する。

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
全体研修	１回（３９人）	１回（２０人）	１回（２０人）
内容	・分科会活動報告 ・広域アドバイザー総評	・分科会活動報告 ・広域アドバイザー総評	・分科会活動報告 ・連携会議コーディネーター総評
対象者	地域移行関係職員	地域移行関係職員	地域移行関係職員

（５）ピアサポーターの活用に係る事業の実施【深め隊】

精神障害者の地域移行や雇用の場を広げるため、ピアサポーターを活用し、病院や事業所、市民や学生等を対象としたセミナー等や、入院の患者に対する相談等およびピアサポーター相互の人材交流を積極的に行っている。

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
交流会	２回（３５人）	３回（６０人）	４２回（１６８人）
公開セミナー等	２回（６２人）	３回（２２１人）	５回（２４６人）

※令和２年度・３年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から交流会の実施ができなかった。

（６）地域への広報・普及啓発活動の実施【広め隊】

住民向け研修は、令和元年度より千葉市教育振興財団公民館管理室と共催で開催し、障害者基幹相談支援センターやあんしんケアセンター等とも連携して行っている。若年層向けは市内の小中学校及び大学等と協力しながら実施している。

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
地域住民向け	４回（１４２人）	６回（２３２人）	４回（１０４人）
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話
若年層向け	３回（１８１人） （大学生）	３回（１０５人） （大学生）	４回（１６３人） （大学生等）
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話
一般市民向け	－	－	１回（２４人）
内容	－	－	福祉サービスの講演及び個別相談会

(7) 心のサポーター養成事業

心のサポーターとは、「メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルの問題を抱える人や家族等に対して傾聴を中心とした支援ができる人」をいう。地域で養成されることで普及啓発への寄与、メンタル不調等の予防、早期介入につながることを期待されている。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）が国からの委託を受けて事業を推進しており、令和6年度からの10年間で100万人の心のサポーターを養成することを目標に掲げている。

① 指導者養成研修（県が実施）

地域で開催される養成研修の講師を務めるなど、自治体等と連携して心のサポーターの活動を支援する「指導者」を養成する研修。国（NCNP）のほか、都道府県も開催することができる。（無料）[受講資格] 医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師等の国家資格を有し、精神保健に携わる者、メンタルヘルスファーストエイド等の心の応急処置に関する研修を受講している者

	令和6年度
指導者数(市内)	8人

② 心のサポーター養成研修

こころの病気を持つ人に対する差別や偏見（スティグマ）を持つことなく共生できる風土づくりや、こころの不調の早期発見やサポートに役立つ知識や方法を習得する研修。都道府県・政令市が実施する。（無料）

	令和6年度
対象	庁内・関係機関
開催回数	1回
認定証交付者数	55人